

第一回練馬区みどりの区民会議開催について

- 1 日時 平成 28 年 12 月 15 日（木）18 時 30 分～20 時 30 分
- 2 場所 本庁舎地下多目的会議室
- 3 参加者 委員 25 名
傍聴者 4 名
- 4 内容
 - (1) 練馬のみどりの現状と課題説明（公園、農地、私有樹木）
 - (2) 身近なみどりの課題についての意見交換（テーマ：問題点の共有）
- 5 意見交換で出された意見の例
 - (1) 落ち葉について
 - ア 落ち葉の清掃が大変。毎日落ち葉掃きをしているが、お隣さんからは「もっと早く掃いて」と言われてしまう。
 - イ 保護樹木のマツの大木から周り 6 軒の家の屋根の雨どいに落ち葉が入り、詰まってしまう。業者に頼むと足場を組んで 30～50 万も掛かる。強剪定するしかないのか、そのお金もない。
 - (2) 樹木手入れについて
 - ア 子どもと木を見て学びたいのに、公園の木が剪定されすぎて、何の木か分からない。
 - イ 樹木の手入れをしたいが、忙しさとやり方がわからずで、放置してしまう。
 - (3) 樹林、農地が失われることについて
 - ア 維持、管理が大変になってきて、今ある木々を切らざるを得なくなっている。「ここにこういう木がある」ということをまちの人に知ってもらって、庭を残したい。
 - イ 今持っている保護樹林をいつまで維持できるかわからない。
 - (4) 苦情について
 - ア 大きなケヤキがあったが、近隣の方に「落ち葉は掃かなくていいので、木を切ってください。」と言われた。切っている最中に、通りがかりの方から「運動してでも、残してください。」と言ってくださった方もいたが、嫌な思いをしている人がいると思うと、心が折れてしまう。
 - イ 畑の土埃の苦情。自分で柵を作って対策したが、それだけでは解決しない。
 - (5) その他
 - ア 学生はみどりに関わる時間が少ない。どう参加すればいいのだろうか。私たちができる事は何だろうか。
 - イ 公園や森が暗くて、見通しが悪く、防犯面で心配である。そうになると、すたれて、人が行かなくなり、利用価値が下がってしまう。